

自らの手で始めよう



作業所でできる地球温暖化防止活動!!

ラフタークレーンの省燃費運転

走行時 ① 必要最低限のアイドリング

エンジンキーを OFF に



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶 (1缶 200L)

3本

※ 1日1時間の不要な
アイドリングを止めた
場合

走行時 ② 急発進・急加速を避ける

アクセルペダルの踏み込みを抑える

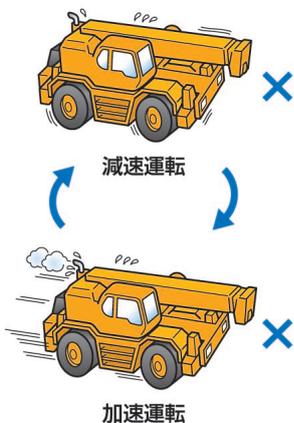


【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶 (1缶 200L)

6本

※ 1日60回の発進・
加速で、アクセル
ペダルの踏み込み
を00%から90%
程度に抑えた場合

走行時 ③ 波状運転の防止



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶 (1缶 200L)

エンジンブレーキ使用
2本

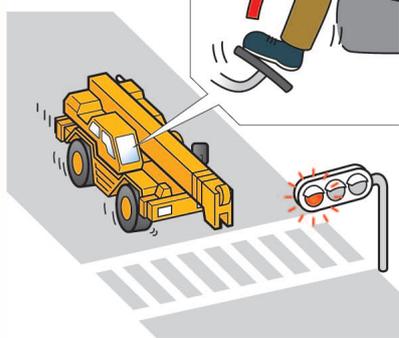
排気ブレーキ使用
3本

流体式リターダ(2段)使用
5本

※ 1日の走行距離 40kmの
うちの20%を、エンジン
ブレーキ・排気ブレーキ・
流体式リターダ(2段)の
いずれかのブレーキを使
用する波状運転(速度 35
km±10km)から、定速運
転(速度 35km)にした場合

走行時 ④ エンジンブレーキを利用した減速運転

エンジンブレーキの
使用を。



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶 (1缶 200L)

5本

※ 1日の停止回数
のうち、30回を流
体式リターダ2段
による減速停止か
ら、エンジンブレー
キによる惰行運転
での減速停止を行
う場合

作業時 ⑤ 不要なアイドリング運転の防止



エンジンキーを OFF に

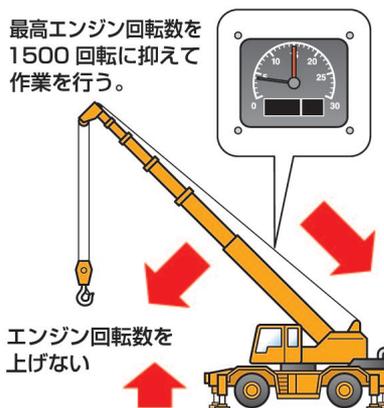
【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶 (1缶 200L)

4本

※ PTO (パワーテイク
オフ) を ON の状態
で、1日1時間の
不要なアイドリング
を止めた場合

作業時 ⑥ エンジン回転数を上げないで作業する

最高エンジン回転数を
1500 回転に抑えて
作業を行う。



【省エネ効果(年間)】
燃料ドラム缶 (1缶 200L)

9本

※ 1日にウインチ巻
上げとブーム起伏
を各 50 回、ブーム
伸縮を 5 回行う作
業において、エン
ジン回転数の最大
値を、1900 回転
から 1500 回転に
落とした場合

自らの手で始めよう



作業所でできる地球温暖化防止活動!!

作業所のみなさんができること

効果表示 1本 (14kg-CO₂/年) 10本
(資料: 林野庁スギの二酸化炭素吸収量)

① 事務所、休憩所のこまめな消灯



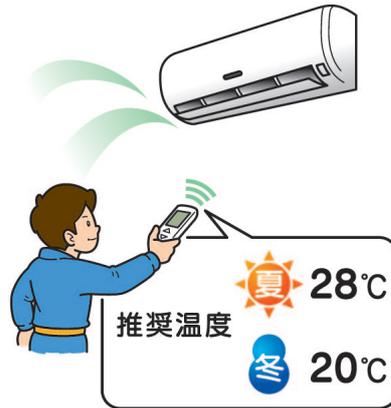
【省エネ効果(年間)】

1.3本

※蛍光灯(40W)10灯で1日30分間の消灯を続けた場合

- ・事務所、休憩所等のこまめな消灯。
- ・昼休みの消灯。

② 事務所、休憩所の室温を適正な温度に設定

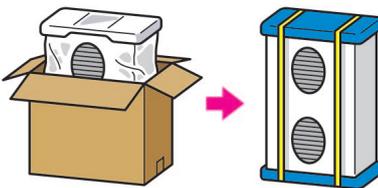


【省エネ効果(年間)】

2.2本

※エアコンは1台あたり1日9時間冷暖房を1°C控えた場合

③ 梱包材の削減、廃棄物の削減

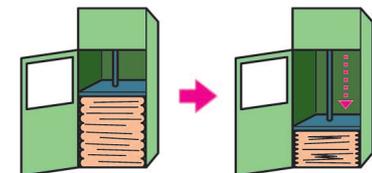


- ・簡易梱包による持込量の削減。

【省エネ効果】

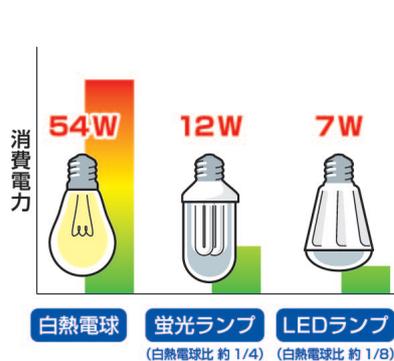
1.4本

※梱包材、廃棄物の削減により4t車30km走行1回分を削減した場合



- ・廃棄物圧縮による搬出容量の削減。

④ 高効率・省エネ型の仮設照明機器を使用



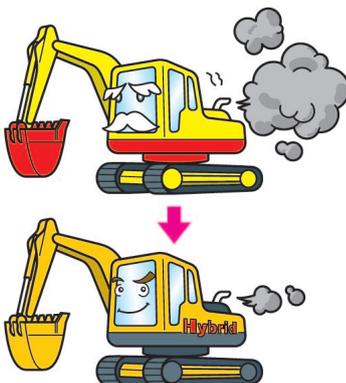
【省エネ効果(年間)】

23本

※白熱電球(54W)10灯を、蛍光ランプ(12W)5灯とLEDランプ5灯(7W)に変更した場合

- ・仮設照明を蛍光ランプ、LEDランプに変更し、電力使用量を削減。

⑤ 省エネ型の建設機械を使用



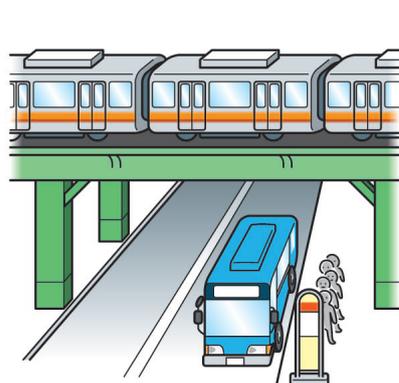
【省エネ効果(1日)】

3.6本

※省エネ型(従来型燃料比25%改善)の油圧ショベル(20tクラス:バケット容量0.8m³クラス)を使用した場合

- ・省エネ型・ハイブリッド型の建設機械を使用し、燃料使用量を削減。

⑥ 通勤時の公共交通機関の利用



【省エネ効果(年間)】

33本

※往復8kmのマイカー通勤を、公共交通機関に変えた場合

- ・通勤の足にバス・電車等を利用。